

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F
TEL017(752)0171 FAX017(752)0170 URL/http://aomori.doyu.jp/ E-mail/info@aomori.doyu.jp

津軽支部例会

縁を造り、園をつくる

～地域と共に育ち、必要とされる企業に～



◆報告者◆

(有)松竹梅造園 (青森支部)

代表取締役 渡辺 精一氏

渡辺 芽吹氏

(2021/7/19 参加 17名)

★★★ 感想文 ★★★

「継承」から「承継」へ

私は社長の息子として事業を「継承」するのが当たり前だと思っていました。しかし、受け継ぐのは形ではなく想いなのだという事ははっきりと示していただきました。

渡辺社長が創業時に抱いた想いは「月給・ボーナスを支給出来る会社にしたい」でした。今の会社で当たり前の事が、社長の沢山の努力や苦悩の積み重ねの結果であるという事に改めて気付きました。

芽吹さんの講演では、社長に創っていただいた松竹梅造園と紹介されていました。芽吹さんは社長の想いをしっかりと受け止めているのに対し、私は社長が創業したという言い方をしていた、会社を物扱いしている事に気付きました。また、渡辺社長と芽吹さんの共通の考え方で「最後は社員が決める」とあり、社員さんに認めてもらえるため、真剣に仕事に向き合う姿勢の大切さを教えて頂きました。

今回、両方の立場からのお互いの想いが伝わり、

私も事業「継承」ではなく、先代からの想いを引き継いだ事業「承継」となるよう今後の自身の指針となった素晴らしい講演でした。

記/ (株)スノウプル 専務取締役 鳴海 利彦氏



青森支部例会

笑顔いっぱいの理念経営

～期待と夢に満ちあふれた

ポジティブ経営者の不思議発見～

◆報告者◆

(有)たんぽぽ運送 代表取締役
稲葉 晃 氏 (津軽支部)

(2021/7/20 参加 43 名)



★★★ 感想文 ☆☆☆

“いつも笑顔で相談にのってくれ、面倒見の良い熱い人だな…” 私が稲葉さんに会った時の印象はそんなイメージでした。今回の報告を聞き、波乱万丈な人生を送り、大変な苦労と悲しみを経験なさった稲葉さんの人生観に共感し、私も稲葉さんのようになりたいと思いました。(有)たんぽぽ運送創業のきっかけを作ってくれた師匠の斎藤清勝さんのお話の中で、稲葉さんが「どうして私を可愛がってくれるのか」と師匠に質問すると「一緒に仕事している仲間だはんで、助けねばまいねーべな」と言ってもらった言葉が印象的でした。私は斎藤さんも稲葉さんの人間性に惚れて、将来ビッグになる素質と可能性を感じていたのではないのかと思いました。

そして会社では自ら社員食堂でご飯を作り、宿泊施設、温泉施設、トレーニング施設を設ける等、社員が快適に働ける環境作りを行ったそうです。ご自身が昔、あったらいいなと感じていた環境を社員に提供するサービス精神と大きな思いやりは経営者として尊敬しますし、なかなかできる事ではありません。

社員とその家族が誇れる会社を創る、稲葉さんのような大きな心と思いやりのある、笑顔で温かい経営者に、私もなりたいです。

記／アークコンサル(株) 専務取締役 来海 天将 氏



7/26 上十三支部 7 月例会

参加 19 名



障がい者雇用を知る・考える

◆第1回◆

障がいをもった人が 一般就労にたどり着くまで

（福）義栄会 月見野作業所

管理者 今村 健 氏（青森支部）

（2021/8/17 参加 28名）

◆第2回◆（オンライン開催）

特別支援学校とは

～送り出す側の取り組み～

（株）KASAKO

就労移行支援事業所 C-ROAD

所長 小坂 春樹 氏（津軽支部）

（2021/9/6 参加 20名）

★★★ 感想文 ★★★

「障害者雇用促進法」により、従業員 43.5 人につき 1 名以上の障がい者の雇用が義務付けられている。義務化されているという事は、障がい者雇用が進んでいない事を意味するが、受け入れる為には企業の体制の整備も必要である。

（福）義栄会で管理者として活躍されている今村氏は、障がい者就労支援 20 年以上の豊富な経験を有している。就労支援を行う「ジョブコーチ」は、障がい者本人や受け入れる企業に対しても適切なアドバイスを行ってくれる。今村氏によると「顔を覚えられない障がい者が、企業の担当者を探すために髪型の変化や眼鏡の有無等についてもアドバイスを行う」との事で恐れ入る。

「障がい者雇用は法律で決まっているから仕方なく」ではなく、個人の強みを把握し、活躍してもらうことが理想的である。そのために既に取り組んでいる先輩企業の成功例を聞けることは有益である。

記／あおもり労働社会保険労務士事務所

特定社会保険労務士 工藤 大輔 氏



★★★ 感想文 ★★★

障がいをもつ子供の進路は大体親がレールを敷かなければならないと思っています。その中で学校からの情報はとても重要です。どうやって社会に出していくか、小学部から親と学校の連携が大切だと思います。特別支援学校の取り組みは年々新しく塗り替えられている部分と、なかなか進んでいかない部分があるように思います。キャリア教育を小学部から行っても、高等部になると進路だけになって子供の重圧を感じたこともありました。中学部まではひらがなを書けていたのに、高等部になってほぼ作業と実習で埋まり、ひらがなが書けなくなったというお子さんもいました。一人ひとりのニーズは何を目指す前提なのかを頻りに懇談するべきなのではないかと思っています。

むつ、下北地区は学校任せの保護者が多いことが特徴です。先ずは、そういう現状から変えていくことと、むつ養護学校と同校が主体で行っている就労支援ネットワークが、企業や授産施設、福祉施設との連携について、見直して変えていかなくてはと思います。企業が求める人材に向けて学校や家庭の教育と、企業側の受け入れに向けた担当社員さんの障がいについて学ぶためのスキルアップは、同時進行で必要だと感じました。

記／（一社）りあん 理事長 中西 直美 氏



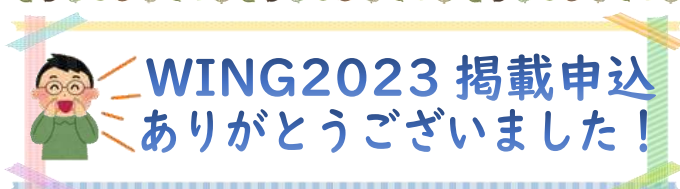


第12回企業展中止のお報せ

企業展実行委員長を務めさせていただきました大坂将史です。

今年の企業展ですが、残念ながらこのコロナ禍の影響により中止とさせていただきました。毎年恒例の行事として開催してきましたが、地域の感染拡大防止への貢献と青森県中小企業家同友会の方針に沿い実行委員会のもと決定致しました。

しかし来年こそは開催できると信じて引き続き準備を進め、今年できなかった分も元氣良く大きく開催できることを願いこれからも準備していきます！今年参加予定ではなかった企業様も是非来年は参加していただき、地域への自社PRと同友会メンバーと繋がる良い機会になると思うので、参加の方を是非ご検討下さい！来年もよろしくお願いいたします。



WINGは会社紹介が満載の情報冊子です。採用条件だけが掲載されている求人票とは違い、各企業の雰囲気・経営者や先輩の熱意を伝える、同友会会員企業で構成する『企業の魅力発信情報誌』なんです！

毎年ご掲載いただいている企業数も増加傾向にあり、今年度も昨年度よりも多くの申込みをいただいています。県内の高校や大学等とも積極的な交流を行っているので、何から始めたらいいのかわからない…という企業様も次年度に向けて是非一度お気軽に事務局までご連絡下さい！



8月理事会報告 於:事務局 2021.8.4(水)

1)年度方針の確認

- 青森同友会2021 年度重点活動方針案
- 青森同友会3カ年ビジョン(2020～2022)

2)報告事項

- 青森同友会の各種全県事業と全国行事について
- 第18期「経営指針を創る会」運営状況について
- 全県委員長会議について
- 支部長会議について
- 全国行事誘致について

3)審議事項

- 青森同友会青年部組織の立ち上げについて
- 支部長会議からの上程事項について
- 秋の経営研究集会について
- SNSの利活用について
- 他団体からの案内について
- 年度会勢目標に向けての取り組みについて
- 各支部、委員会からの報告

入退会 会員数 390 名／入会 5 社 退会 1 社

9月理事会報告 於:事務局 2021.9.1(水)

1)年度方針の確認

- 青森同友会2021 年度重点活動方針案
- 青森同友会 3 カ年ビジョン(2020～2022)

2)報告事項

- 青森同友会の各種全県事業と全国行事について
- 第18期「経営指針を創る会」運営状況について
- 全県委員長会議について
- 支部長会議について

3)審議事項

- 青森同友会の新型コロナへの対策について
- 支部長会議からの上程事項について
- 秋の経営研究集会について
- SNSの利活用について
- 年度会勢目標に向けての取り組みについて
- 各支部、委員会からの報告

入退会 会員数 390 名／入会 1 社 退会 1 社

【次回開催日】2021年10月6日(水)13:30～/事務局会議室